

# 構造解析用核内タンパク質等の生産と評価[NMR]

## [技術の概要]

NMR用タンパク質の生産: タンパク質発現系の選択を行い安定同位体ラベルタンパク質を生産する。

創薬標的に向けた種々の安定同位体ラベルしたタンパク質構成因子を大量調製しタンパク質複合体を再構成する。

リン酸化などタンパク質修飾とそれに伴う結合変化をリアルタイムに検出する。

## 支援に供する設備

950MHzNMR

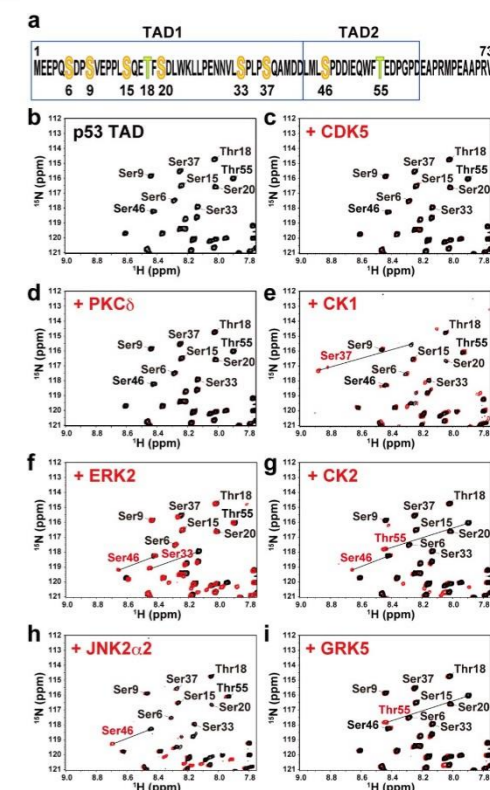
900MHzNMR

800MHzNMR



## [技術の利用例]

がん抑制タンパク質p53の転写活性化ドメインはリン酸化部位が9箇所存在するが、今まで部位特異的なリン酸化酵素として報告されていた酵素の特異性をリアルタイムに追跡し、全く新たに酵素の特異性を発見し、リン酸化により標的タンパク質結合する様子もリアルタイムに追跡した。



## 連絡先

[所属] 横浜市立大学

[名前] 西村善文

[E-mail] [nisimura@tsurumi.yokohama-cu.ac.jp](mailto:nisimura@tsurumi.yokohama-cu.ac.jp)